



## 「健康コラム」

病気と予防のお話し ～JCHO 船橋中央病院から～

### 第28回 全身とお口のケア ～定期的な歯科検診とメンテナンス～

歯科口腔外科 平山幸子

こんにちは。JCHO船橋中央病院歯科口腔外科の歯科衛生士平山です。

全身疾患や治療と口腔内の状態は深い関わりがあることをご存じですか？

糖尿病を患う方は歯周病になりやすく、また歯周病になると血糖コントロールが悪くなることがわかっています。手術後や入院中の免疫力が下がってしまう環境で口腔ケアが有効であることも報告されています。

当院では全身麻酔手術を受ける方、抗がん剤治療を開始する方、骨粗鬆症の治療を開始する方、摂食嚥下機能障害の検査を受ける方に対して、施術前、投薬前に歯科口腔外科でお口の中を詳しく調べて、歯科治療や口腔ケアを行っています。

例えば全身麻酔で手術を受ける方は手術中の呼吸管理のために「経気管挿管」といってお口からチューブを入れます。ぐらぐらの歯やかぶせ物があるとそれを飲み込む危険があり、さらに口腔内が汚れていると肺炎のリスクが高まりますので、これを予防しています。

抗がん剤治療は免疫力が下がり口腔内に症状が出ることもあり、また状態が悪い口腔内が身体全体の感染を引き起こすこともあります。

もちろん施術や治療も事前に歯科治療など行い口腔内が管理されていることが望ましいのですが、手術や治療はいつ必要になるかわかりません。予防のために全身の検診を受けるようにお口の中の定期的な検診もとても重要です。

皆さん、かかりつけの歯医者さんはありますか？

ぜひ、ご近所にかかりつけ歯科医院を作って定期的な検診やメンテナンスを受けましょう。船橋中央病院の歯科口腔外科も皆様のお口の健康をお支えできるように頑張ります。